



○ ナイトロックスで潜る

パラオ!!!

World Heritage, Palau

2012年7月、パラオのロックアイランドが、
UNESCOの世界遺産に登録された。

このことは、ダイバーはともかくとして、

日本国内ではあまり知られていないような気がする。

そんな貴重なパラオの海を、より安全に、かつ快適に潜ろう! というのが、パラオのダイビングサービス、ブルーマーリンからの提案。

パラオの日系ダイビングサービスで初めてナイトロックスを常時導入(クルーズ船除く)。

しかも、エアと同じ金額で使用できるというのだから、使わない手は無いだろう。

ということで、世界遺産パラオの海を、全ダイブ、ナイトロックスで潜ってみた。

世界遺産、パラオの
海をナイトロックスで楽
しもう



UNESCO世界複合遺産登録 貴重なパラオの海

2012年7月、UNESCOの世界複合遺産に登録された、パラオのロックアイランド。その登録範囲は、約10万ヘクタールに及ぶ、コロール州の一部。ジェリーフィッシュレイク、ミルクウエイなどのロックアイランド内にある人気の観光スポットのみならず、ブルーコーナーやブルーホール、ジャーマンチャネルのあるゲメリスエリアや、ウーロンチャネル、シアスコーナー、シャークシティー、グラ

スランドなどのあるウーロンエリアなどのダイビングサイトが点在するエリアが全て含まれている。

つまり、今までと同じようにダイビングをしていれば、「世界遺産の中でダイビングが楽しめてしまう」というわけ。すでにパラオに何度も潜りに来ているリピーターにとっては、おなじみの水中景観ではあるけど、今後は「世界遺産の海で潜った」という箔が付く。

マッシュルームのような形をした島が点在するロックアイランドの景観

01/ドロップオフに成長している、カラフルなソフトコーラル

02/外洋では、ハシナガイルカなどの鯨類との遭遇のチャンスもある

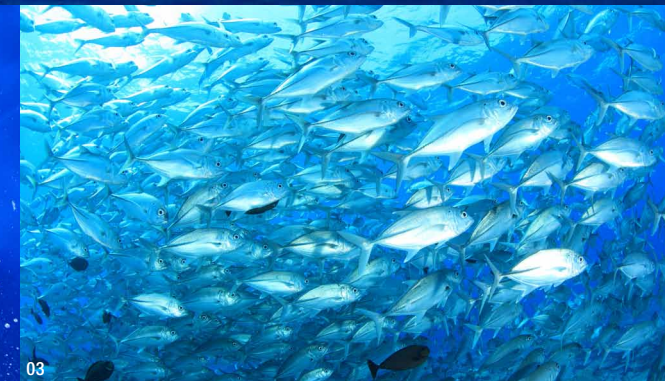
03/世界に誇るブルーコーナーのギンガメアジは、ほぼ確実に見るおことのできる、定番の人気者



01



02



03

ナイトロックスで潜る
パラオ!!
World Heritage, Palau

ocean+α

©ocean+α ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.meluis.com>

関連情報HPへ



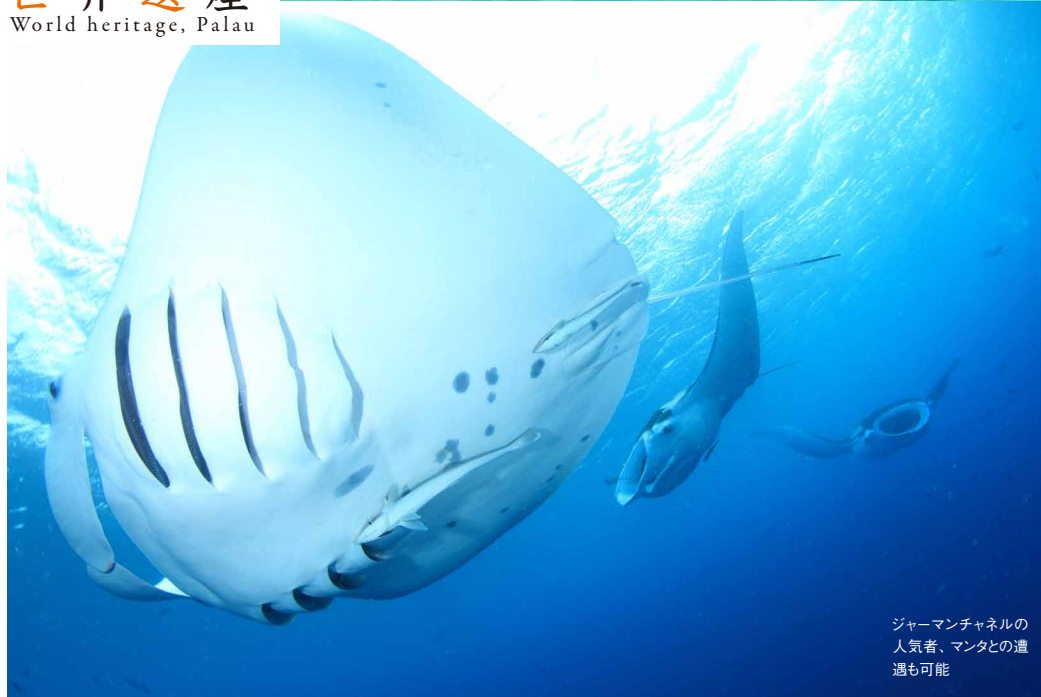
01

ジャーマンチャネルを通過する時に見える、セプンティア島の美しい光景。空から見てみたい



世界遺産
World heritage, Palau

「世界が認めた貴重な海に潜った」という満足感



01/ ヤシャベラの正面顔

02/ ナイトロックスのシールを貼ったタンクに憧れる

ジャーマンチャネルの人気者、マンタとの遭遇も可能

小 笠原も2011年に世界遺産に登録され、観光客が増加し、盛り上がりを見せた。パラオでも、少しずつではあるが、観光客が増加傾向にあるという。今後、多くの「世界遺産フリーク」がパラオに訪れて、マッシュルームのような島が点在する、ロックアイランドの特徴的で美しい自然環境を堪能することだろう。

2 012年、自分は取材で世界遺産の海を3カ所潜る機会があった。一つは、世界遺産登録ほやほやの、このパラオの海。そして、フィリピンのトゥバタハリーフ（1998年登録）、そしてニューカレドニアのバリアリーフ（2008年登録）だ。

どれも、美しい海中景観と、守るべき、



ブルーマーリンのスタッフが、世界遺産の海をガイドしてくれる



02

希有な生態系が存在する貴重な海。そして、「世界遺産」という看板は、なんだかんだ言いながら、やはり、「世界が認めた貴重な海に潜った」という、ある種のステータスを感じさせてくれるのだ。



ナイトロックスで潜る
パラオ!!
World Heritage, Palau



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
http://www.meluis.com

関連情報HPへ



台風一過の海中



01



ミヤコテングハギだけでなく、他の種類のハギなども一緒に群れているシーンは珍しいようだ

01/ブルーコーナーでカレントフックにつかまり、サメや群れを堪能する

02/台風直撃直後にブルーコーナーなどに群れたツノダシ

03/ダイバーのエアと戯れる？サザナミサカハギ

今回、取材を行なったのは、12月2日に台風24号がパラオに直撃した直後の事。そのときに、ブルーコーナーなどに、その時期群れるはずの無い、ツノダシやミヤコテングハギなど、様々な種類の魚たちが異常に群れて、産卵行動を行っていた。これほどの種類が一度に群れる状況は、普段は、見る事が無い。

何故このような現象が起こったのかは定かでは無いのだが、パラオにいる何人かのベテランガイドに質問したところ、「初めて見る光景」であり、「破壊的な自然災害に直面した魚たちが、種を残すために取った行動ではないか」と推測していた。

いずれにしても、こんな現象を見ることが出来るパラオの海は、やはり貴重な海だと感じた。

ナイトロックスで潜る
パラオ!!
World Heritage, Palau

ocean+α

©ocean+ α ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
http://www.meluis.com

関連情報HPへ

エアを利用する人も、ナイトロックスを利用する人も、基本的には一緒に潜る。より安全にダイビングを楽しめる



まず、ナイトロックスとは？



1本目のダイビング 経過時間9分

エアの減圧不要限界 72分に対して、32%エンリッチド・エアの減圧不要限界は134分。その差は62分。

これから、ナイトロックスを利用する日本人ダイバーも増えて行くだろう



そんなパラオの海をナイトロックスで潜ることに。と言っても、ダイバーの間ではすでに浸透している、「ナイトロックス」とは一体どういうものかというのを、ここで少しだけ紹介しておくことにする。

ナイトロックスとは、空気（酸素21%窒素79%）より酸素分圧の高い混合ガスのことで、PADIでは、エンリッチド・エアという。

酸素分圧が多いために、空気を使用したダイビングと同じ深度、時間で潜った場合の体内残留窒素が少なく、より安全に、快適にダイビングを楽しむことができる、というもの。

通常のナイトロックスを使ったダイビングでは、酸素分圧が32%（酸素32%、窒素68%）や36%（酸素36%、窒素62%）を使用する事が多い。現段階でブルーマーリンでは、32%酸素分圧のナイトロックスのみ、空気タンクと同じ金額で使用できる。

ナイトロックスを利用する事で減圧不要限界時間が伸びるという利点があり、1日に通常の空気潜るよりも、長く潜ることができる。以下に、ダイビングコンピューターをそれぞれ、21%の空気と、32%のエンリッチド・エアに設定して、2本のダイビングを行なった場合の途中経過



1本目のダイビング 経過時間40分

エアの減圧不要限界 31分に対して、32%エンリッチド・エアの減圧不要限界は76分。その差は44分。

2本目のダイビング 経過時間10分

エアの減圧不要限界 58分に対して、32%エンリッチド・エアの減圧不要限界は131分。その差は73分。

2本目のダイビング 経過時間20分

エアの減圧不要限界 42分に対して、32%エンリッチド・エアの減圧不要限界は105分。その差は63分。

過の比較をしてみた。

同じダイビングプランで潜った場合の減圧不要限界時間が長くなり、窒素の体内蓄積も少なくなる。また、個人差はあるが、潜水中、潜水後の身体が楽になると良く言われている。

ナイトロックスで潜ることで、通常の空気潜るダイビングプランを行なった場合に、減圧症のリスクが軽減される。

上記のような利点がある一方で、酸素分圧によって、潜れる深度に限界が生

じる事も理解しておかなければならない。例えば、ブルーマーリンが利用する32%のナイトロックスタンクで潜れる最大深度は34m。これ以上深く潜る場合には酸素中毒になる可能性が出て来るため、この深度を越えないダイビングプランを立て、そのプランを忠実に守って安全にダイビングをする事が重要になる。

実際にナイトロックスで潜るためには、PADIの場合、エンリッチド・エア・スペシャルティコースを取得する必要がある。

ブルマーリンには、5名のPADI エンリッチドエア・ダイバーコースを教えられるインストラクターがいる。だから、パラオの海で講習を受けて見るのも良いかもしれない



01/ ナイトロックスを使うと、疲れも軽減されている

02/ 水深15m程度の海底に着底して、ガーデンールを見学

ブルマーリン (以下BM) では、パラオの世界遺産登録直後の2012年10月から、ナイトロックスを導入した。パラオの日系ダイビングショップとしては、初めての試み(クルーズ船は除く)だ。

ガイドを担当してくれた、井口優さんは、PADI エンリッチド・エア・ダイバーコース・インストラクター。「現段階でのBMの提案は、より安全かつ快適に、パラオでのダイビングを楽しんでもらう事なので、ナイトロックスを使用したからと言って、通常のエアを利用するゲストとチーム分けするわけではなく、基本的には同じチームと一緒に潜ってもらいます」とのこと。

酸素分圧によって、潜れる深度が決まってくる、ナイトロックスを使ってパラオの海を潜ることに、多少不安を



感じていた。それは、多くのポイントがボトムの見えないドロップオフをドリフトするダイビングだからだ。それにポイントによっては、リーフトップが深く、ダウンカレントが発生する事もある。

この事に関して聞いてみると、「実際、深度が深くなるポイントでは、ナイトロックスは使用せず、通常のエアタンクで潜ることにしています」との事。具体的なポイント名を挙げると、ペリリューコーナー周辺、シアストーン、シャークシティなど、中、上級者向けで、リーフトップが深かったり、ボトムの深度が深くなるポイントでは、通常のエアタンクを使用する。

BMでのナイトロックスの利用に関しての詳細は、同社HP内の「パラオでナイトロックスを始めてみよう」(<http://www.meluis.com/nitrox.html>)を参照。

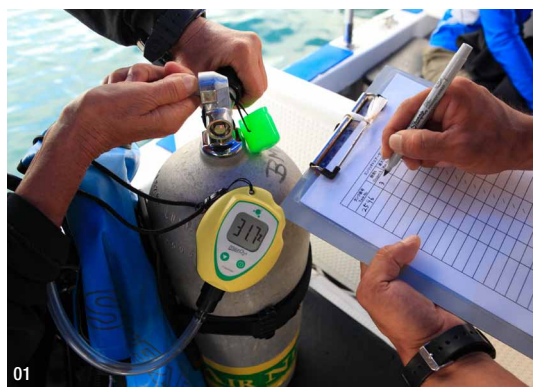


ブルマーリンの ナイトロックス利用に関する コンセプト

パオ!!
World Heritage, Palau

ocean+
ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

まずはインストラクターの指示に従って、アナライザーの使用方法を身につけることが大切だ



01

01/アナライザーでチェックした酸素分圧とタンクナンバーは、必ず潜る前に記録する

02/タンク内の酸素分圧をチェックするアナライザー



02

BMには、現在パラオ人1名を含む、5名のPADIエンリッチド・エアスペシャリティ・インストラクターがいるので、現地で講習を受けてすぐに、ナイトロックスを利用して、パラオの海を潜ることも可能だ。

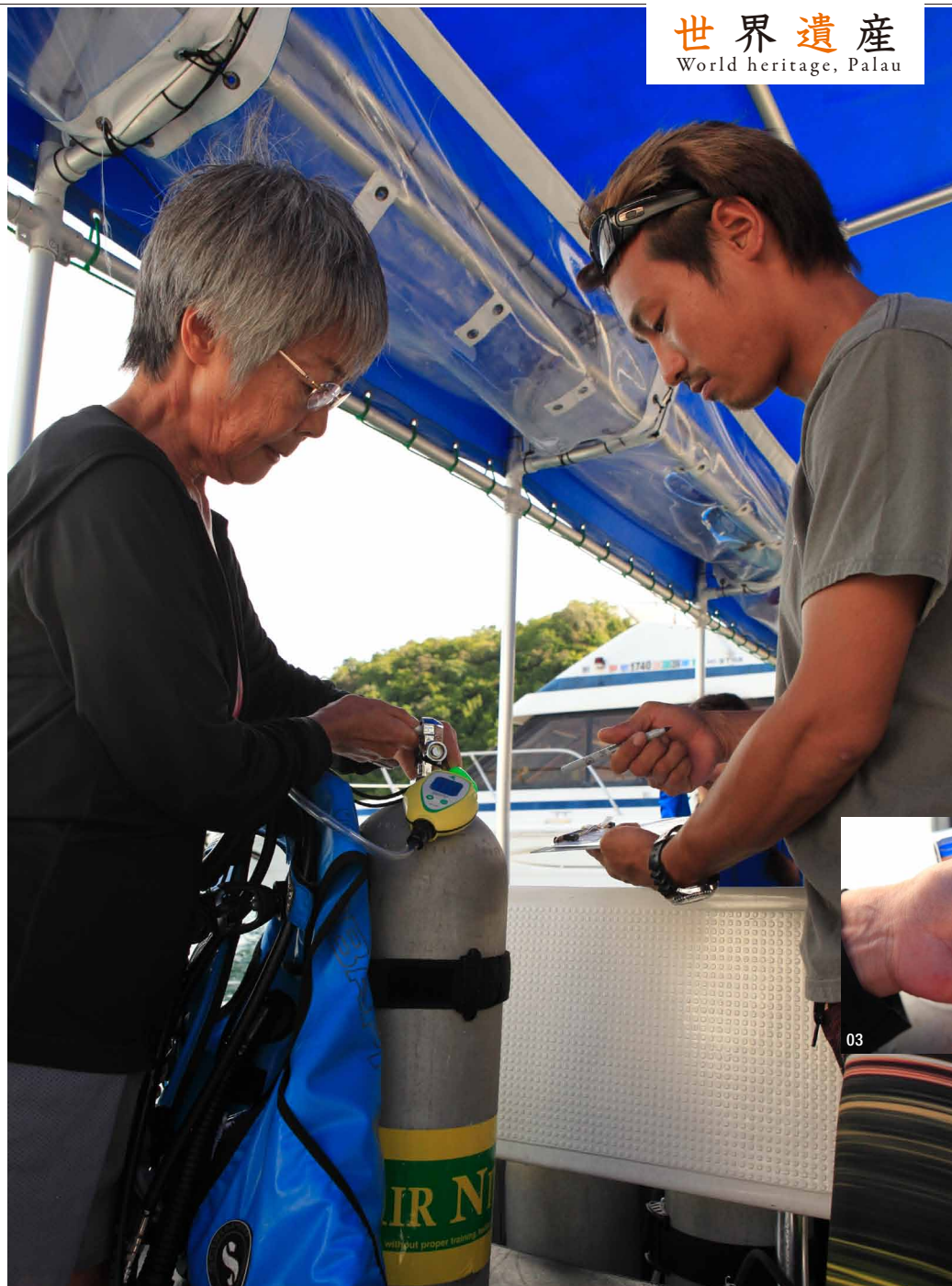
講習を受けるに当 講 たって、BMが

奨励しているのは、e-learning。これは、エンリッチド・エアダイバー講習の学科部分をパラオに来る前に、日本で自習し、学科テストまでを終わらせておく方法だ。パラオでの滞在期間を有効に使えるので、最近では、多くのダイバーが好んで利用している。

こちらの詳細は、同社HP内「e-Learning (<http://www.meluis.com/elearning.html>)」を参照。このページから実際にお申し込みも可能。

今回、このe-Learningを利用して、学科を日本で終わらせて、海洋講習をブルーマーリンで受講したゲストがいた。現地では、ナイトロックスを使用して2本の講習ダイビングを通常のファンダイビング中に行なえば、それでエンリッチド・エアSPが取得できるとあって、終止リックスして講習を行なっていた。

ブルーマーリンの ナイトロックス利用に関する コンセプト



03

ナイトロックスで潜る
パラオ!!
World Heritage, Palau



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配布および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



Information Link
<http://www.meluis.com>

← 関連情報HPへ



ダイビングサービスのキャッチ お願いします

Diving Service
BlueMarlin
ブルーマーリン

1987年にオープン。2005年より、マラカル島のパラオロやるリゾート内に店舗を構える。温水シャワーや広々とした機材、カメラ洗い場など、綺麗で充実した施設。併設のギフトショップ、「White Rock Lily」には、オリジナルTシャツや手作りのアクセサリなどのおみやげも充実。4隻のスピードボートを駆使して、ダイビングエリアを選択。PADIエンリッチド・エア・ダイバーコース・インストラクターは現在5名在中。現地での講習も受けられる。



04

TODAY'S LOG		Date (Cantonese)	
DATE (L/S)	POINT	GRASS LAND	SMILES CORNER
NAME		77.77	0.95
ENTRY TIME		11:51	14:35
EXIT TIME		11:39	15:21
BOTTOM TIME		0:48	8:44
		0:51	0:48
MAX DEPTH		17.1m	17.2m
WATER TEMP		29.5°C	29.6°C
AIR TEMP		31°C	31°C
VISIBILITY		17m	17m

- 01/ブルーコーナーの人気者、ナホレオン
- 02/ロックアイランドにある無人島に上陸してランチを楽しむ
- 03/陽気な、ブルーマーリンのPADIインストラクターたち
- 04/キャプションダーミー
- 05/一日のダイビングを記録する

PADIエンリッチドエア
スペシャリティ・インス
トラクターで、人気パ
イドの井口優さん



世界遺産
World heritage, Palau

パオ!!
World Heritage, Palau
ナイトロックで潜る



©ocean+ a ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link
<http://www.meluis.com>

関連情報HPへ